新しい耳

TESSERA

テッセラ
第33回
音楽祭

創造しつづけることは、
変化しつづけること。

廻 由美子
ピアニスト(〝新しい耳〟主宰)

2023年
11月10日金~12日日

第**1**夜　11月10日金 [18:30開場] 19:00開演
會田瑞樹(vib.) ヴィブラフォン・ソロ
～光の舞～

第**2**夜　11月11日土 [15:30開場] 16:00開演
大石将紀(sax.)×**廻 由美子**(pf.)
～フォーカス!～

第**3**夜　11月12日日 [15:30開場] 16:00開演
松平 敬(br.)×**中川賢一**(pf.) vol.4
～告別～ 交響曲になった歌曲たち

サロン・テッセラ　Salon tESSERA

全席自由
- 各夜5,000円
- 〈3夜通し券〉13,500円
- 〈2夜券〉(お好きな2夜をお選びください) 9,000円

学生券▶全日半額(Web受付のみ)／ミミトモ会員▶特典あり
(学生券、ミミトモ会員の詳細はWeb▶ https://www.atarashii-mimi.com にてご確認ください)

主催 テッセラ音楽祭実行委員会

助成 公益財団法人東京都歴史文化財団
アーツカウンシル東京【東京ライブ・ステージ応援助成】

ARTS COUNCIL TOKYO

マネジメント▶アーティフィニティ Artiffinity
info@artiffinity.com▶03-6780-2299

インターネットお申込み▶https://www.atarashii-mimi.com
チケットぴあ ▶t.pia.jp ▶ Tel.0570-02-9999(Pコード 249-701)

第 1 夜　2023年 11月10日 金
[18:30開場] 19：00開演

まるで光が降り注ぐような會田のヴィヴラフォン。
演奏に、創作に、縦横無尽に活躍する
會田瑞樹が出現させる煌めく世界。

會田瑞樹

會田瑞樹(vib.) ヴィブラフォン・ソロ
～光の舞～

佐原詩音：Petorunkamuy
湯浅譲二：ヴァイブ・ローカス
會田瑞樹：リトアニア民謡“クリスマスの朝、薔薇が咲く”の主題による幻想曲(新作)
たかの舞俐：Operand/Secret Garden
権代敦彦：光のヴァイブレーション

會田瑞樹(パーカッション) Mizuki Aita
1988年宮城県仙台市生まれ。2010年日本現代音楽協会主催"競楽Ⅸ"第二位入賞と同時にデビュー以降、これまでに300作品以上の新作初演を手がけ「初演魔」の異名をとる打楽器/ヴィブラフォン奏者。作曲家として2019年第10回JFC作曲賞入選、2021年リトアニア聖クリストファー国際作曲コンクールLMIC特別賞受賞。最新アルバム「いつか聞いたうた　ヴィブラフォンで奏でる日本の叙情」は年間最優秀ディスクとなる第59回レコードアカデミー賞受賞。ヴィブラフォン、現代作品の魅力を多彩に紹介した成果により令和2年度大阪文化祭奨励賞、令和3年度宮城県芸術選奨新人賞受賞。かなっくホールレジデントアーティスト。郡山女子大学短期大学部非常勤講師。

第 2 夜　2023年 11月11日 土
[15:30開場] 16：00開演

しなやかな感性、揺るぎない強靭な技術。
廻とのデュオは予測のつかないスリリングな展開となるだろう。
スタン・ゲッツにも期待が膨らむ！

大石将紀

© Olena Kushnarova

廻 由美子

大石将紀(sax.)×廻 由美子(pf.)
～フォーカス！～

H.ヴィラ=ロボス：ファンタジア(1948)

ファジル・サイ：組曲～アルト・サクソフォンと
　ピアノのための op.55(2014)

エディ・ザウター／スタン・ゲッツ：
　「フォーカス」(1961)より“Her” “Night Rider”

ピアソラ：6 つのタンゴ・エチュード」より第 6 番

ピアソラ：天使のミロンガ

大石将紀(サクソフォン) Masanori Oishi
サクソフォン奏者としてクラシック音楽、特に現代音楽のジャンルで活躍し、これまでに数々の世界、日本初演を手がける。
東京藝術大学卒業、同大学大学院修了後、03年に渡仏しパリ国立高等音楽院に入学。文化庁新人芸術家在外研修員として研鑽を積む。サクソフォン科、室内楽科、即興演奏科を全て最優秀の成績で卒業後、08年帰国。現在は国内を初めヨーロッパやアジアにおいて音楽祭の出演、リサイタルの開催、また音楽大学でマスタークラス等を行うなど幅広く活動している。第13回佐治敬三賞、令和元年度文化庁芸術祭レコード部門優秀賞受賞。現在大阪音楽大学特任准教授、東京藝術大学、洗足学園音楽大学講師、エリザベト音楽大学特別講師。
www.m-oishi.com

廻 由美子(ピアノ) Yumiko Meguri
桐朋学園大学ピアノ科を卒業後、渡米。インディアナ大学音楽学部卒。帰国後、活発なる演奏活動を展開。自由な表現力、生命感溢れるリズム感は圧倒的で、他ジャンルからのオファーも多く、ジャズ、ロック、民謡、演劇、ダンス等とのコラボも多数。国内外で20枚以上に及ぶCDをリリース、多くが「レコード芸術」誌上で「特選盤」に選ばれる。ドイツ、カナダ、イタリア、台湾などの現代音楽祭に招聘されており、海外の作曲家や演奏家からの信頼も厚い。参加公演F.グラス「浜辺のアインシュタイン」で令和4年度第77回文化庁芸術祭"大賞"受賞。現在、桐朋学園大学音楽学部教授。

第 3 夜　2023年 11月12日 日
[15:30開場] 16：00開演

他に類を見ないほどの実力派2人によるデュオの第4弾はマーラー！
「告別」を含むマーラーのサウンドに浸る一夜。

© Lasp Inc

松平 敬

© Shuhei NEZU

中川賢一

松平 敬(br.)×中川賢一(pf.) vol.4
～告別～ 交響曲になった歌曲たち

マーラー：
　今朝、野原を歩くと／ハンスとグレーテ／恋人の二つの青い眼が
　魚に説教する聖アントニウス／原光
　夏の交代／おお人間よ！ 耳を澄ませ
　少年鼓手／私はこの世から消えてしまった

シェーンベルク：6 つの小さなピアノ曲 op.19 第 6 曲

マーラー：大地の歌より「告別」

松平 敬(バリトン) Takashi Matsudaira
東京藝術大学卒業、同大学院修了。現代声楽曲のスペシャリストとして、湯浅譲二、松平頼暁、高橋悠治、西村朗など150曲以上の作品を初演。これまでにサントリーホール・サマーフェスティバル、新国立劇場、コンポージアム(東京オペラシティ文化財団)などに出演。CD録音においては、一人の声の多重録音を駆使した『MONO=POLI』(平成22年度文化庁芸術祭優秀賞)など3枚のアルバムを発表。チューバの橋本晋哉氏との「低音デュオ」名義でも2枚のCDをリリース。2019年2月には、シュトックハウゼンのほぼ全作品を網羅した著書『シュトックハウゼンのすべて』を出版(第32回ミュージックペンクラブ音楽賞受賞)。

中川賢一(ピアノ) Ken'ichi Nakagawa
桐朋学園大学音楽学部でピアノと指揮を学び、卒業後、ベルギーのアントワープ音楽院ピアノ科首席修了。1997年オランダのガウデアムス国際現代音楽コンクール第3位。帰国後は、ソロ、室内楽、指揮で活躍する他、国内外の様々な音楽祭に出演。NHK-FMなどに度々出演、新曲初演多数。音楽監督を務めたP.グラス作曲オペラ「浜辺のアインシュタイン」では令和4年度第77回文化庁芸術祭大賞受賞。アンサンブル・ノマド、ピアノ・ツィルクス(5台ピアノ)各メンバー。(一財)地域創造公共ホール音楽活性化支援事業、ソニー音楽財団「こどものためのクラシック」各登録アーティスト。お茶の水女子大学、桐朋学園大学非常勤講師。

ヤマハ銀座店
〒104-0061　東京都中央区銀座7-9-14　TEL：03-3572-3171(代)
https://www.yamahamusic.jp/shop/ginza.html

三軒茶屋駅から当ホールへの行き方
東急田園都市線三軒茶屋駅地下からお越しの場合は、地下道を東急世田谷線への案内看板に沿って進み、エスカレーターで地上へ。東急世田谷線改札(地上)の向かいとなります。

〒154-0004
東京都世田谷区太子堂4-22-6 4階
[東急三軒茶屋駅 徒歩1分]